

施政方針



施政方針演説をする前田市長

平成30年枕崎市議会第2回定例会が6月8日
招集され、前田祝成市長が平成30年度の市政
運営についての施政方針演説を行いました。
その一部を抜粋して紹介します。

私は、市長選立候補当初から本市の強みである産業競争力の向上、そして人口減少社会の中でも枕崎の次代(次の世代)を担う子どもをしっかりと育てるための子育て支援、また少子高齢化が進む中、新しいまちのあり方、市民の生活、人の動きや情報の流れを活性化、再構築するコミュニティデザイン的重要性を訴えてまいりました。産業競争力向上、子育て支援、コミュニティデザインの再構築、この3つを柱に本市の発展に尽くしてまいります。

産業競争力の向上

本市の基幹産業である農林水産業は、魚価の不安定な動きや、異常気象等による農産物の収量増減、価格低迷など、先行きの予測しづらい状況等による厳しい環境に置かれております。また、昨今の担い手の高齢化、後継者不足等の先行き不安な状況が続いていることも事実でありま

す。しかしながらそういう状況下でも、水産業では枕崎漁港における高度衛生管理型荷捌所の環境整備をはじめ、今後の近代的な環境への取り組みや、水産加工業においては「枕崎炭火焼きかつおタタキ」が、「本場の本物」(一般財団法人食品産業センター)に認定されるなどの将来に向けた明るい話題もあります。後継者不足に悩む農業ではありますがお茶や花卉においては若い経営者も育ってきている部分もあり、今後の農業振興においては後継者の新しい取り組みを支援していくことで新たな局面を開拓する必要があります。そういった支援の一つとして、さらなる地域産品の掘り起こしに「ふるさと応援寄附金」の仕組みをさらに有効活用し、さまざまなPR等にも積極的に取り組むことで、産業競争力の向上につなげていきたいと考えております。

県の関係団体や各業界団体の総会等に積極的に参加し、業界内での本市産業の実情把握と今後取り組むべき課題の把握に努めるとともに、すぐにできる要望や情報交換に努めてまいります。

産業振興だけではなく、道路をはじめ本市の抱えるインフラの老朽化整備などの要望活動等にも出向き、先般は国土交通副大臣、国土交通省道路局長にも直接、要望活動を行ってきました。引き続き、本市産業の現状課題の把握、将来課題への取り組みを通じ、本市の産業競争力向上に向けた方策を模索してまいります。

子育て支援

本市の厳しい財政状況をさまざまな角度から考慮すると、保育料、授業料、給食費や医療費等をはじめとした直接的な経済支援という形で現状以上の子育て支援にすぐに取り掛かることは難しい状況であります。そういう状況下において、この枕崎で子育てをすることに對する優位性を示すためには、より質の高い個性的な独自の子育て、教育環境を整えることが重要であると考えます。義務教育に

おいては、本市の特徴である一小一中の環境を最大限に生かした小中連携教育をさらに磨いていき、小学校における英語教育の強化や専門教育化に對した小中学校教師の相互交流、学校施設の老朽化に對した施設の共用など、将来的には小中一貫校も視野に入れた幅広い可能性を地域住民の皆さまと真剣に協議してまいりたいと考えております。また、時代に先駆けたICT教育の充実、プログラミング教育の充実に向けた先進教育の取り組みについても、地域内だけではなく、全国各地の大学や先進自治体などとも積極的な協働や情報交換に取り組み、本市独自の教育を構築してまいります。

コミュニティデザインの再構築

市民が幸せな暮らしを続けていくために最も重要なものは市民の健康であると考えます。市民の健康寿命の延伸は本市の大きな課題であり、この6月議会に提出する健康づくり推進条例は、その健康寿命延伸のための本市健康づくりへの基本をなす条例ですが、健康寿命の延伸、医療費の縮小などに向けては、

さらに積極的な健康づくりへの施策が必要です。現在、実施中のウォーキング大会をはじめとする健康づくり事業や、てびつて広場事業をはじめとする介護予防事業、さらには特定健診受診率向上への積極的な取り組みをさらに進めると同時に、市民に伝わる正しい情報発信をし、市民一人ひとりの健康づくりへの意識向上を図ります。また、病院や買い物等の移動手段を確保するための高齢者、交通弱者対策にはタクシーを活用した支援の検討を続けてまいります。できるだけ早く実現させ、高齢者の活動を促すことで健康寿命延伸へつなげてまいります。

防災情報をはじめ市民に広く正確な情報発信を行い、市民生活の質的向上、市民活動の活発化、市民参加を促進させるためのコミュニティFMの開設について、先行自治体のヒアリング調査をはじめとした調査を開始しました。防災行政無線との共存など、その可能性を慎重に検討してまいります。

今年に入り、長年市民生活を支えてこられた老舗衣料品店の閉店や全国資本の大手紳士服チェーン店の撤退の情報など、商店街にとっては厳し

い状況があります。一方で、健康、医療関係の新業態や独自の特色を出した飲食店など少なからず新しい店舗展開もあります。今後の生活者ニーズ、観光ニーズ等につなぐとマッチしたまちづくりが求められています。時代に合った魅力的なまちづくりのために商工会議所、青年会議所、観光協会やその他関係団体ともしっかりと協働していく行政運営を行ってまいります。

市役所の前向きな内部改革

この産業競争力向上、子育て支援、コミュニティデザインの再構築の3つの柱をしっかりと進めていくためにも一つ重要なものがあります。それは市役所の前向きな内部改革です。単に市民の要望を聞くだけではなく、建設的な改善策、新しい視点での市民生活へのアイデアを提案できる、新しい市役所の形が求められています。これからは、至れり尽くせりの市民サービスのための市役所はいけません。しっかりと市民とコミニケーションを取りながら、市民自身がまちづくりに参加することで市民の幸せを実現できる形をとっていく、

市民参加を促せる市役所であればなりません。そのためには今までの既存の考えにとらわれない新しい発想の行政運営、市役所職員としての仕事の仕方が求められます。これまでの習慣をすぐに変えることは困難なこともありませんが、人口減少社会の小さな自治体の小さな政治が求められる環境下ではこのことに果敢にチャレンジする必要があります。チャレンジしていく価値があります。

就任以来、各課長、係長を交えた現状報告、そして本年度の目標課題のヒアリングを実施しました。そして、先月末からは「市長と枕崎市の未来を担う職員との語る会」と題して6回にわたる、若手職員78名との語る会を実施しています。少しずつ、職員の意識改革にも取り組み、職員の持つポテンシャルが最大限発揮できる組織へと変革を図ってまいります。そして、その意識改革の風を市民に届けられる市役所に進化してまいります。前向きに明るく、さまざまな困難な課題にチャレンジしてまいります。

※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。
【市長の部屋】施政方針 ↓
平成30年度施政方針 ↓

